

重要事項要望書



笑顔みちる水都 とくしま

徳島市

日ごろは、徳島市政の推進につきまして、格別のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、徳島市を取り巻く社会情勢は、少子高齢化の進行や都市部への人口流出による地域の活力低下、南海トラフ地震をはじめとする自然災害リスクの高まり、グローバル化の進展、環境問題の深刻化や多様化、ICTなど高度情報化の進展、さらには、高速道路の延伸による市内中心部と関西圏の直結など、大きく変化してきております。

こうした社会情勢の変化にスピード感を持って的確に対応していくため、本年3月に今後10年間の新たなまちづくりの指針となる「徳島市まちづくり総合ビジョン」を策定しました。

この総合ビジョンでは、市民満足度の高いまちを目指すこととし、将来像を「笑顔みちる水都 とくしま」と掲げ、市民の誰もが「笑顔倍増を実感できる市民が主役のまちづくり」に全力で取り組んでいるところでございます。

しかしながら、地方を取り巻く環境が大きく変化する中で、こうした取り組みを機動的かつ戦略的に推進し、県や周辺自治体との連携強化を十分に図りながら、「県都とくしま」を再生させるためには、徳島市自らの努力はもちろんですが、国のご支援やご協力が必要不可欠でございます。

つきましては、徳島市にとって必要かつ緊要な別添の要望事項について、是非ともご理解と特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年8月

徳島市長 遠藤 彰 良

重要要望事項 目次

主管省庁局	要 望 事 項	頁
消 費 者 庁	消費者庁等の徳島県への全面移転への取組及び 地方消費者行政の強化・充実について	1
国 土 交 通 省	徳島市内の連続立体交差事業の推進について	2
国 土 交 通 省 財 務 省	吉野川の直轄管理区間における洪水・地震津波対策 の推進について	4
国 土 交 通 省 財 務 省	高規格道路網等の整備促進について	8
国 土 交 通 省	徳島小松島港沖洲(外)地区複合一貫輸送ターミナル 整備事業の促進について	12
総 務 省 国 土 交 通 省	新ホール整備事業の推進について	14

消費者庁等の徳島県への全面移転への取組及び地方消費者行政の強化・充実について

< 主管省庁局 消費者庁 >

【要望の趣旨】

東京一極集中を是正し、地方創生を推進するため、消費者庁等の徳島への全面移転に向けた取組の推進及び地方消費者行政の強化・充実に向けた支援について、要望するもの。

◆現況・課題等

現況

【国の動き】

- 消費者庁等の全面移転は、「地方創生」等重要な意義
- 徳島県に「消費者行政新未来創造オフィス」開設
- 全国展開を見据えたモデルプロジェクトの実施

【徳島市の状況】

- 高齢者の相談・被害率が高い
 - ◇相談件数の割合(60歳代以上)
23%(H17)→36%(H28)
- ⇒周辺3町村と消費生活相談業務等の広域連携協定締結(H29.5)
- ⇒消費者安全確保地域協議会(見守りネットワーク)の設置予定(H29年度)

課題

消費者庁等の全面移転に向けて

- 「消費者行政新未来創造オフィス」の活動充実
⇒各種プロジェクトの実施
- 活動成果・地方移転の意義発信
⇒周知広報

地方消費者行政の強化・充実に向けて

- 消費生活相談員の質の向上
⇒相談スキル等の習得・研修充実
- 高齢者への相談・啓発の強化
⇒相談体制充実と被害未然防止啓発
- 消費生活センターの魅力ある職場づくり
⇒若い世代の相談員の確保

消費者庁等の移転及び地方消費者行政の強化・充実には、国の支援が必要である

◆具体的要望内容

地方創生の起爆剤となる消費者庁等の全面移転及び地方消費者行政の強化・充実のため、次のことについて特段のご配慮をお願いいたします。

- ① 消費者庁等の全面移転への積極的な取組の推進
(「消費者行政新未来創造オフィス」への人員・予算の確保、地方移転の必要性・意義の周知等)
- ② 消費生活相談員の質の向上への支援(研修充実・徳島市での実施)
- ③ 消費生活相談員確保への支援(若い世代の人材育成・働きやすい職場づくり)
- ④ 高齢者の消費者被害の未然防止対策への支援

徳島市担当部課名 市民環境部 市民生活課

徳島市内の連続立体交差事業の推進について

< 主管省庁局 国土交通省 都市局、道路局 >

【要望の趣旨】

市街地の一体化や交通渋滞の緩和を図るため、徳島駅西から文化の森駅付近までの連続立体交差事業の推進について、要望するもの。

◆現況・課題等

現況

- JR 高德線、徳島線及び牟岐線
 - ⇒ 本市中心部は、様々な都市機能が集積する本県の政治・経済・文化の中核であるとともに、交通の要衝となっている。
 - ⇒ JR は陸上交通の大動脈として、県勢全体の発展に大きな役割を果たしている。
- 佐古駅を中心とした 3.7 km 区間が平成 7 年に完成
 - ⇒ 新たな道路や高架側道の整備により、交通渋滞が緩和され、また高架下を駐輪場に活用するなど、利便性の高いまちが構築され、都市の活性化が進んでいる。

課題

●徳島駅西－文化の森駅付近(4.7km)

多くの踏切(13カ所)や立体交差により円滑な移動ができない

様々な都市活動の支障となり、中心市街地の活力が低下

まちの魅力を生かしきれていない

さらには

避難路の確保や救命・救急活動の迅速化等、災害に強いまちづくりが喫緊の課題

将来に向けて本市が持続的に発展していくためには、まちづくりと連続立体交差事業を一体として行う必要がある

◆具体的要望内容

徳島市では、現行の徳島駅周辺のまちづくり計画を見直し、連続立体交差事業と一体化した徳島駅周辺の整備により、中心市街地におけるにぎわいの創出やまちの魅力づくりを可能とする新たなまちづくり計画の策定に取り組んでいるところでございます。

つきましては、本市まちづくりへのご協力と連続立体交差事業の推進について、特段のご配慮をお願いいたします。

徳島市担当部課名 都市整備部 まちづくり推進課

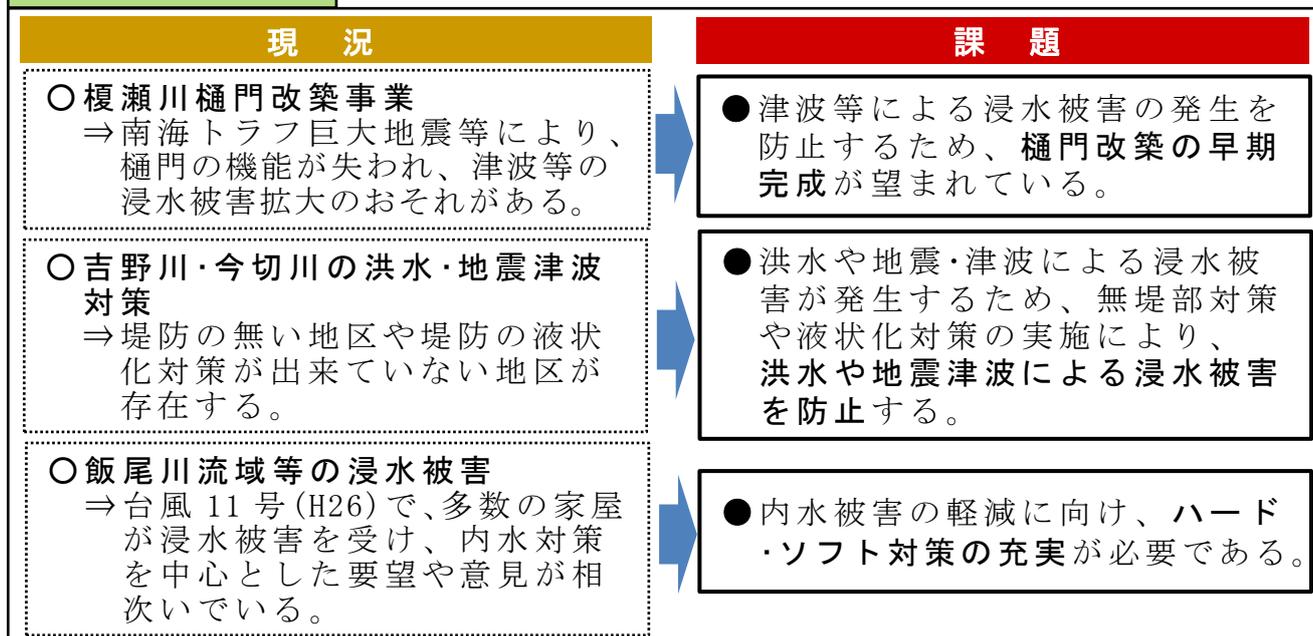
吉野川の直轄管理区間における 洪水・地震津波対策の推進について

< 主管省庁局 国土交通省 水管理・国土保全局 >

【要望の趣旨】

台風等の洪水による浸水被害や今後想定される南海トラフ巨大地震の津波被害の軽減を図るため、吉野川・今切川において必要な対策の実施に向け、治水事業費の予算枠の拡大について要望するとともに、直轄河川改修事業等の整備促進を要望するもの。

◆現況・課題等



市民の安全で安心な生活を確保するため対策が必要である

◆具体的要望内容

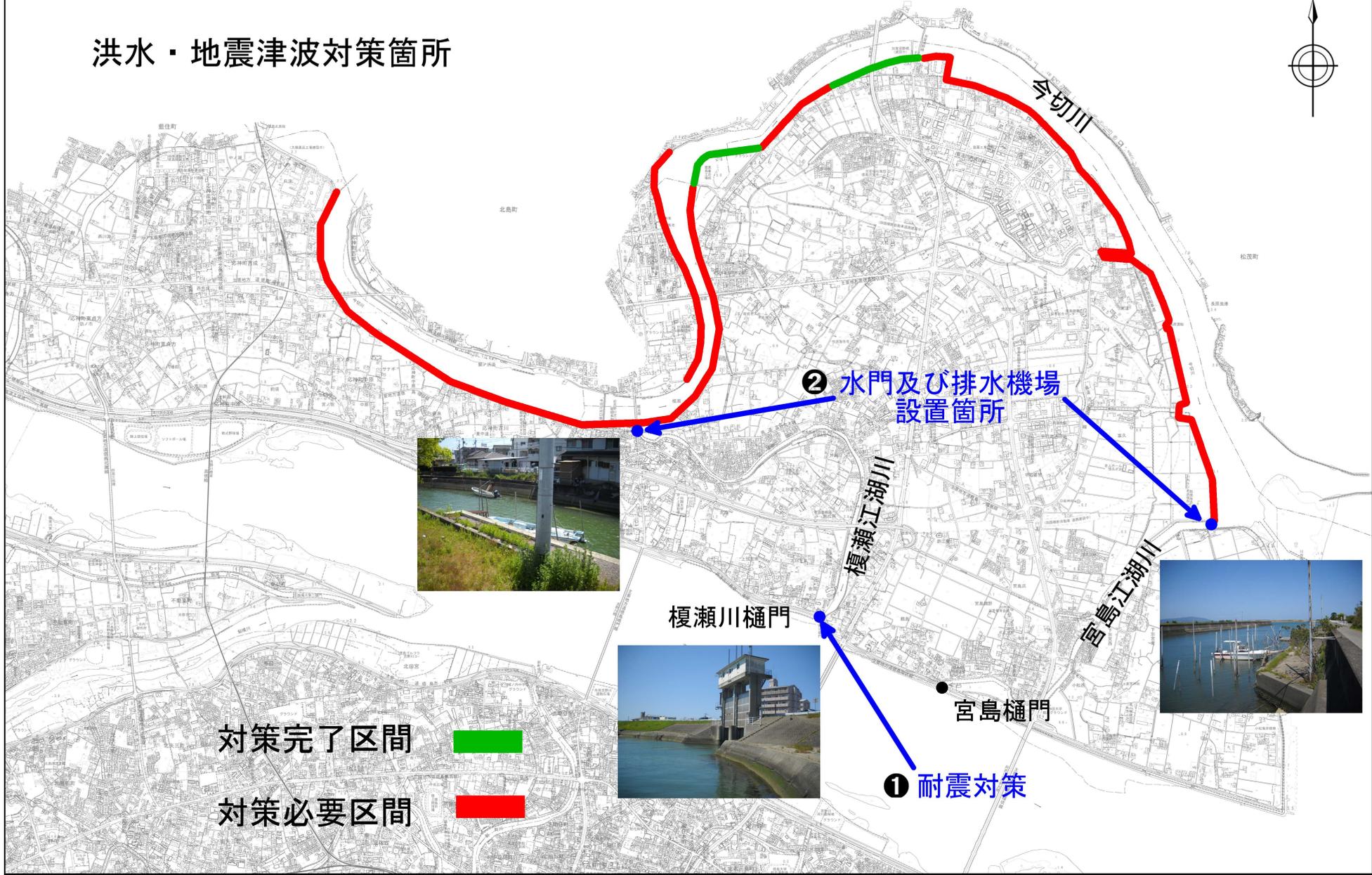
吉野川における直轄河川改修事業等の整備促進と新規箇所の早期事業化について、特段のご配慮をお願いいたします。

- ① 榎瀬川樋門改築事業
 - ・榎瀬川樋門改築の早期完成
- ② 吉野川・今切川の洪水・地震津波対策
 - ・今切川の無堤地区への堤防整備及び堤防耐震対策の促進
 - ・今切川右岸宮島江湖川及び榎瀬江湖川合流点への水門の新設
- ③ 内水対策
 - ・角ノ瀬排水機場の能力向上(20 m³/s→40 m³/s)
 - ・宮島江湖川及び榎瀬江湖川における排水機場の新設

また、近年、全国各地で発生している異常気象を勘案すると、今後、さらに水害が多発する恐れがあり、洪水被害を未然に防ぎ、市民の安全で安心な生活を確保するためにも、治水事業の予算枠の拡大を図っていただきますようお願いいたします。

徳島市担当部課名 土木部 下水道事務所 建設課

洪水・地震津波対策箇所



対策完了区間



対策必要区間



② 水門及び排水機場
設置箇所

榎瀬川樋門

宮島樋門

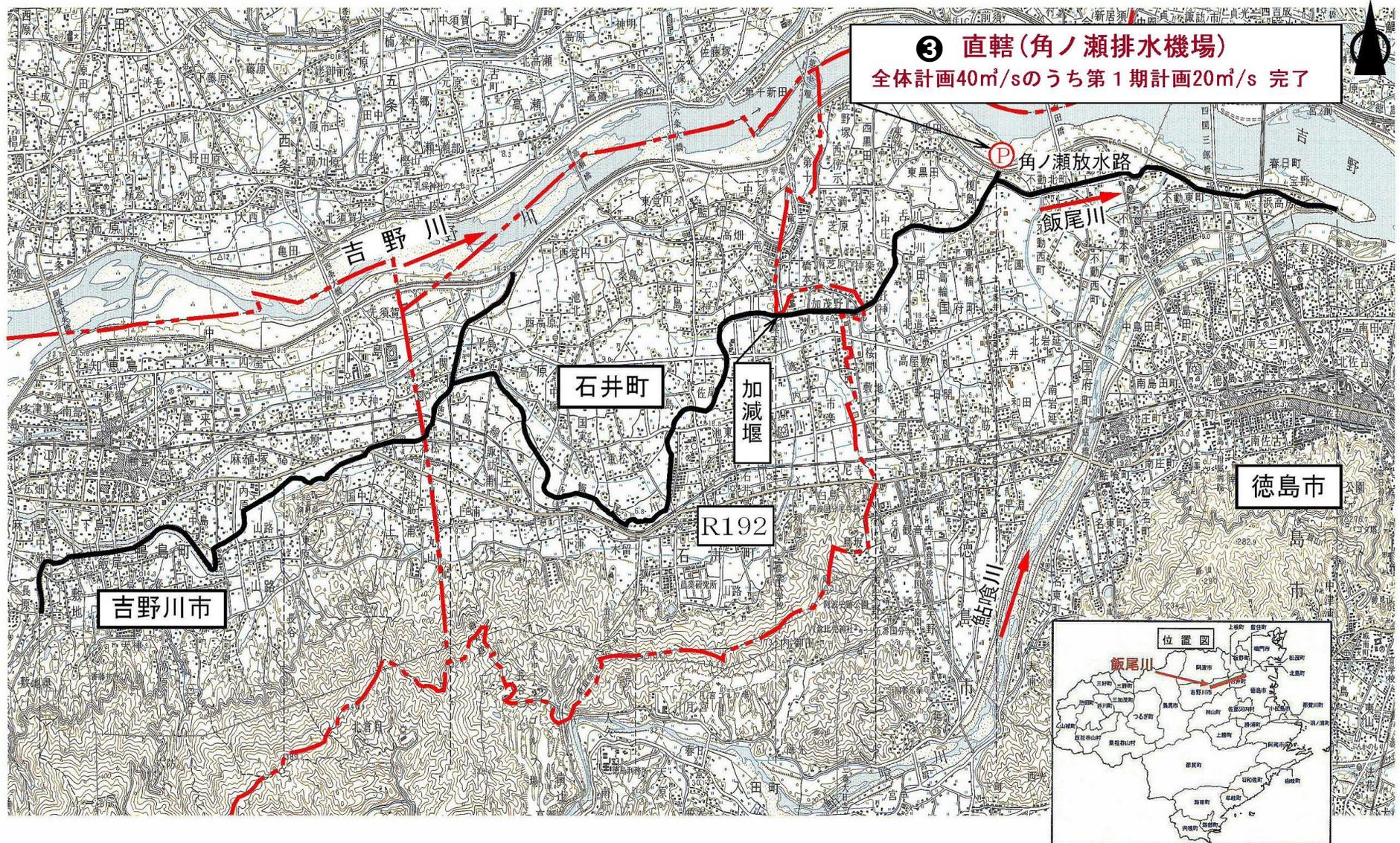
① 耐震対策

今切川

榎瀬江湖川

宮島江湖川

飯尾川概要図



きらめく水辺と賑わい空間



吉野川水系新町川



- ◆ 水とともに発展した徳島市の中心を流れる新町川。その周辺は有名な阿波おどりの舞台でもあります。
- ◆ かつては生活排水で汚れ、住民が川から水を背ける時代もありましたが、平成7年に完成した水質浄化ポンプによる大幅な水質改善、NPO 団体やボランティアによる清掃活動、水辺空間の整備・活用など、国・県・市はもとより民間も一体となった取り組みの結果、人々が集う街を象徴するエリアとして再生しました。

「笑顔みちる 水都」をめざして

Before (H5 年頃)



新町川



After (H23 年頃)



新町川

新町川ボードウォークとして H8 年整備



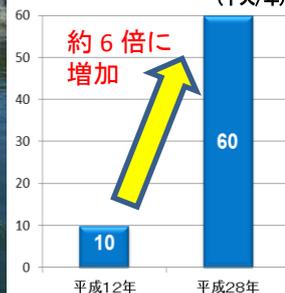
新町川浄化ポンプ場

新町川

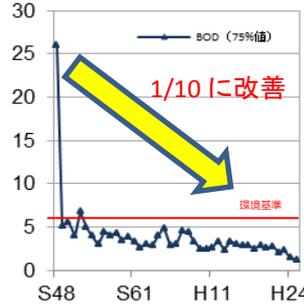
●ひょうたん島周遊船



ひょうたん島周遊船乗客数 (千人/年)



新町川水質経年変化



ひょうたん島周遊船コース

●LEDで彩られた橋 (ふれあい橋)



高規格道路網等の整備促進について

＜ 主管省庁局 国土交通省 道路局 ＞

【要望の趣旨】

広域的な交流を活性化させ、経済に好循環をもたらす道路整備によるストック効果の早期発現及び、中心市街地の慢性的な交通渋滞の解消を図るため、四国横断自動車道の早期整備及び徳島自動車道の早期4車線化並びに徳島外環状道路の建設促進による高規格道路網等の整備について、要望するもの。

◆現況・課題等

現 況	課 題
<p>○四国横断自動車道 ⇒徳島東 IC-徳島 JCT 間は、H31 年度供用に向け整備中。 ⇒津田 IC-徳島東 IC 間は、H32 年度供用に向け整備中。</p> <p>○徳島自動車道 ⇒暫定 2 車線区間が約 8 割。H28 年 8 月、阿波 PA 付近 7.5km 付加車線の試行設置決定。</p>  <p>○徳島外環状道路 ⇒末広・住吉工区内のランプは、H30 年度供用に向け整備中。</p>	<p>●四国横断自動車道 ⇒徳島市の産業集積地であるマリンピア沖洲や徳島木材団地と高速道路へのアクセスが不便である。 ⇒津田地区では「津波避難場所」が不足。</p> <p>●徳島自動車道 ⇒対面通行となるため、利用者の安全性や快適性が不十分。</p> <p>●徳島外環状道路 ⇒整備中の区間があるため、限られたアクセスポイントに車両が集まり、周辺道路に渋滞が生じている。</p>

道路整備による効果の発現・交通渋滞の解消を図る必要がある

◆具体的要望内容

高規格道路網等の整備促進について、特段のご配慮をお願いいたします。

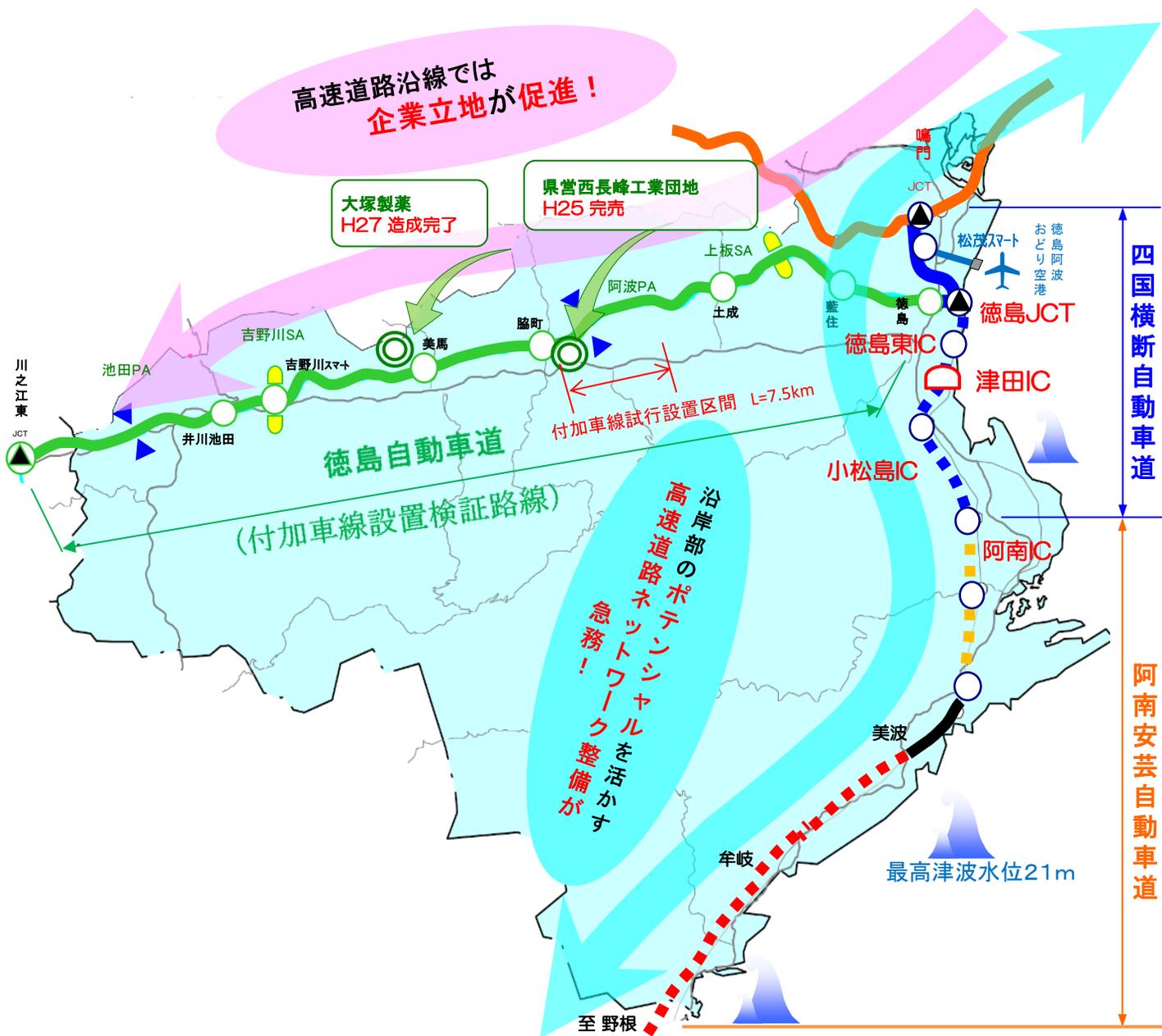
- ① 四国横断自動車道
 - ・阿南 IC-徳島東 IC 間及び徳島東 IC-徳島 JCT 間の整備促進
 - ・津田 IC-徳島東 IC 間への重点的な予算配分
 - ・津田地区の津波避難場所の確保
- ② 徳島自動車道の早期4車線化
- ③ 徳島南環状道路及び徳島東環状線の建設促進

また、今後の予算編成にあたっては、経済対策に資する道路整備を推進する必要があることから、社会資本整備総合交付金等も含めて、公共事業予算を最大限確保するよう、お願いいたします。

さらに、道路財特法の補助率等の嵩上げ措置については、平成30年度以降も継続することと、地方創生推進のために真に必要な道路整備については、補助率等の拡充について、お願いいたします。

徳島市担当部課 都市整備部 広域道整備課、危機管理監 危機管理課

高速道路整備によるストック効果の発現



高速道路延伸により地域経済の好循環が加速

○四国横断自動車道はH27年3月に鳴門JCT～徳島ICを開通

現在、徳島JCT以南の事業を推進中

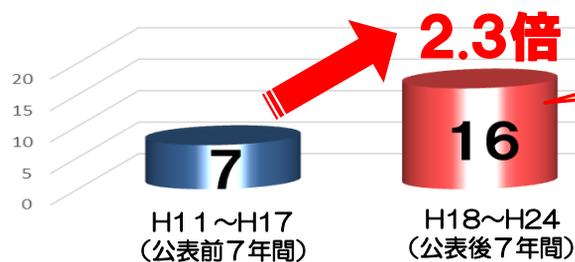
○鳴門JCT～徳島・徳島東ICの開通見通の公表後

「工場立地件数」が2.3倍に増加し臨海部の企業立地を促進

○津田ICの連結許可(H27.7)を契機に、

新たな「陸・海・空の結節点」としての計画を具体化

■開通見通し前後の工場立地件数の伸び



更なる企業進出による地域経済の好循環を期待

H18.3開通見通し公表

※対象エリアは徳島市、鳴門市、松茂町
※件数は徳島県調べ



※上記地図は、国土地理院ホームページ (<http://maps.gsi.go.jp>) をもとに作成。

徳島市内の道路が
四国内交通量
上位7位までを独占

順位	路線名	箇所名	平日 24時間 交通量 (台/日) H22 センサス
1	一般国道11号	徳島市東吉野町	84,488
2	一般国道11号	徳島市中洲町	78,713
3	一般国道11号	徳島市川内町鈴江北	71,123
4	一般国道11号	徳島市川内町竹須賀	69,152
5	一般国道55号	徳島市かちどき橋	64,324
6	一般国道11号	徳島市北常三島町	61,533
7	一般国道11号	徳島市南常三島町	57,891
8	一般国道11号	高松市田村町	57,745
9	一般国道55号	小松島市江田町	54,775
10	一般国道11号	高松市太田下町	53,873

徳島市中心部の渋滞状況
(一般国道11号 徳島市中洲町付近)



『地方創生』を実現し、地域の生産性の向上を図る 『徳島外環状道路』の早期整備を！！



徳島東環状線 川内工区
(H24.4月 供用)



徳島東環状線 阿波しらさぎ大橋
(H24.4月 供用)



徳島東環状線 末広住吉工区
(整備推進中)



徳島東環状線 新浜八万工区
(整備推進中)



上八万IC～八万町橋北間の供用
(H27.2月 供用)



- 国土交通省
- 徳島県(道路事業)
- 徳島県(街路事業)
- 供用中

徳島小松島港沖洲（外）地区 複合一貫輸送ターミナル整備事業の促進について

< 主管省庁局 国土交通省 港湾局 >

【要望の趣旨】

海上輸送機能の効率化を図るため、徳島小松島港沖洲（外）地区複合一貫輸送ターミナル整備事業の促進について、要望するもの。

◆現況・課題等

経緯

○S61～H5

⇒マリンピア沖洲第Ⅰ期を造成し、多くの企業が集まる物流の一大拠点となる。

○H17～

⇒四国横断自動車道の整備に伴う第Ⅱ期埋立て事業を継続中。
⇒既埋立て箇所には、平成31年度に徳島東インターチェンジが整備される予定。

○H27.3

⇒大型フェリー対応の耐震強化岸壁供用。
⇒これにより、沖洲に海陸輸送の結節点拠点が形成される予定。

現況

- 岸壁利用者が、フェリー4新船を投入。本店を沖洲へ移転し本格的な利用。
- トラック、シャーシ台数は増加しており、今後も増加が予測され、地域経済に貢献。



沖洲ターミナル

一方で、岸壁への接岸時にクレーンを必要とする場合があるなど、利用効率化のためには、さらなる静穏度の確保が必要である

◆具体的要望内容

「徳島小松島港沖洲（外）地区複合一貫輸送ターミナル整備事業」の早期完成に向け、現在、国において進めている静穏度確保のための防波堤の整備促進について、特段のご配慮をお願いいたします。

徳島市担当部課名 都市整備部 まちづくり推進課

複合一貫輸送ターミナル整備事業



新ホール整備事業の推進について

< 主管省庁局 総務省 ・ 国土交通省 >

【要望の趣旨】

本市中心市街地の核であり、広域交通ネットワークの拠点である JR 徳島駅に直結する公共施設「市民の芸術文化の創造拠点：新ホール」の整備推進について、要望するもの。

◆現況・課題等

現況

- 本市の文化拠点として、市民に長年親しまれてきた、徳島市立文化センター（耐震診断結果により平成 27 年度から閉館）に代わる新たなホールとして検討している。
- 市内に 1,000 席規模のホールのない状況が続いており、市民の文化活動及び本市の文化振興への影響が生じている。
- 建設候補地については、市内外からの利用者の利便性が高く、周辺との相乗効果が期待できる JR 徳島駅西側駐車場に決定した。（平成 29 年 6 月市議会報告）
- 1,500 席の大ホール、小ホール、創造支援ゾーンを盛り込んだ基本構想及び基本設計（案）を平成 29 年度中に策定する。

課題

- 敷地の形状などホール施設の配置設計において建築上の検討が必要
- 早期完成に向け、土地所有者等の関係者との円滑な調整が必要
- 県都にふさわしいホールの質の確保と整備手法の検討
- 厳しい財政状況を踏まえ、財源の確保と有利な地方債の発行

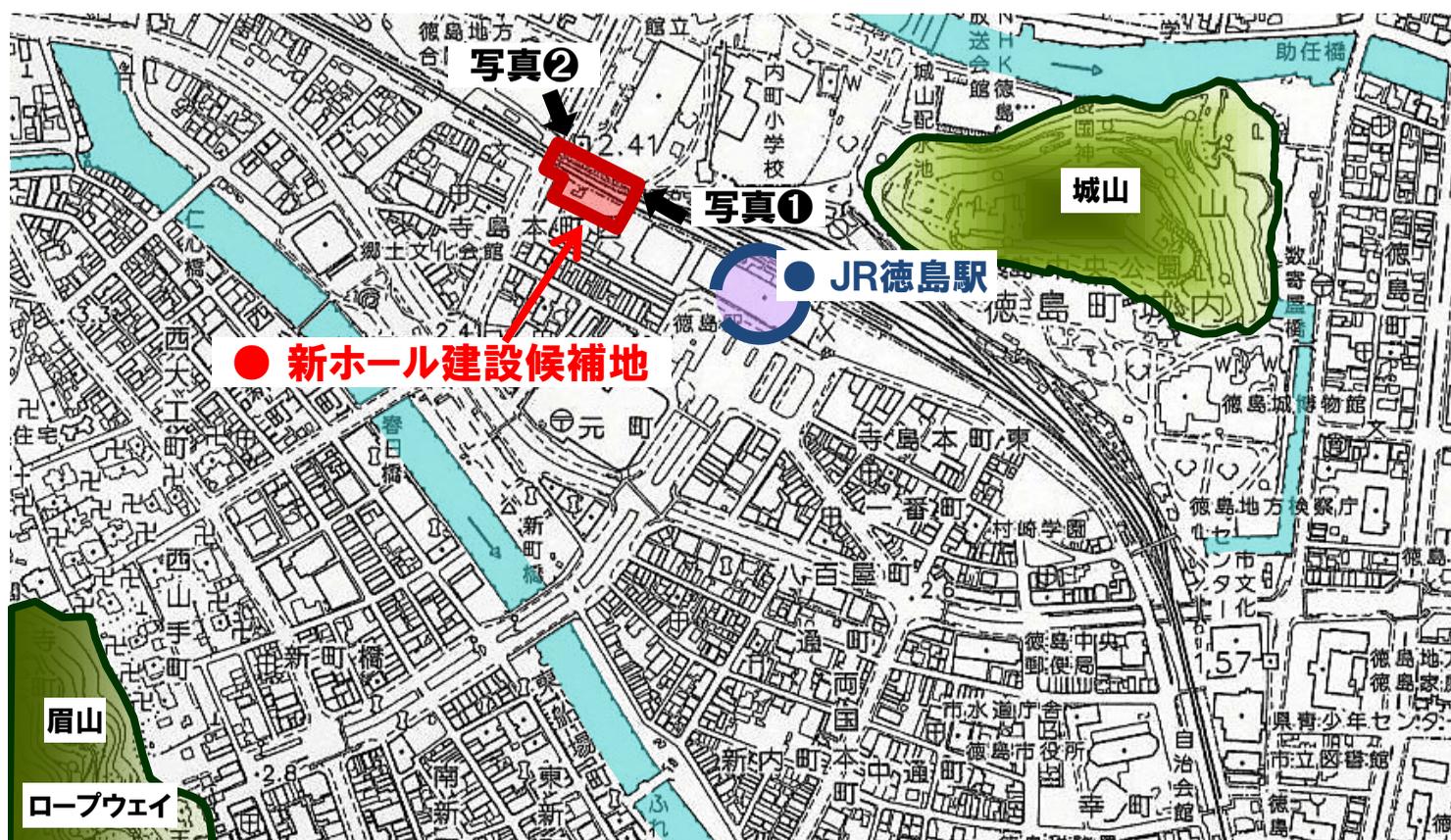
平成 35 年度の完成を目指し、
早急に課題を解決する必要がある

◆具体的要望内容

本市が取組を進めている、市民の芸術文化の創造拠点である 新ホールの一日も早い完成 に向けて、また事業を推進するため、必要な財源確保とさらなる財政支援の充実 について、特段のご配慮をお願いいたします。

徳島市担当部課名 市民環境部 文化振興課

新ホール建設候補地



◆現況写真①（JR徳島駅側より）



◆現況写真②（候補地の北西より）

●敷地の状況

住所	寺島本町西1丁目
面積	約4,866㎡
都市計画の状況	市街化区域 商業地域 防火地域
都市計画施設	指定なし
建ぺい率／容積率	80％／600％
所有者	JR四国(約4,313㎡)、鳴門市(約368㎡)、民有地(約185㎡) ※面積は登記簿上の面積である。
交通アクセス	徳島駅から徒歩約1～3分。周辺に駐車施設が多い。
周辺環境等	JR徳島駅、バスターミナル、ホテル、商業施設、市立体育館、県郷土文化会館、四国大学交流プラザ、県道(30号)等



Tokushima City